

2014年12月14日 13-17時

第37回 SED 実践セミナー(セデーショントレーニングコース)

@大阪医科大学 MSSC 報告書

①開催形態

開催施設責任者：林 道廣(大阪医科大学附属病院医療技能シミュレーション室)

開催協力部門：医療安全管理室、医療プロフェッショナル支援室

開催講座責任者：南敏明(大阪医科大学麻酔科学教室)

②インストラクター

コースコーディネーター

駒澤伸泰 大阪医科大学麻酔科学教室 MSSC

インストラクター

駒澤伸泰 大阪医科大学麻酔科学教室 MSSC

藤原俊介 大阪医科大学麻酔科学教室 医療プロフェッショナル支援室

アシスタント

大地史広 大阪医科大学病院集中治療室

③参加者 33名

学内参加

初期臨床研修医 3名(1年次 3名)各科医師(麻酔科、泌尿器科 4名)

手術室看護師 6名

医学生 4名(メディカルトレーニングクラブ)

学外参加 医師 12名、看護師 4名

医師 12名

羽生総合病院 内科

四日市社会保険病院 腎・透析科

京都府立医科大学救急医療学教室

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座

新潟大学大学院医歯学総合研究科 歯科麻酔学分野

緑水会 緑水会病院 内科

市立福知山市民病院研修医 2年目

隠岐広域連合立隠岐病院麻酔科

関西労災病院麻酔科 4名

看護師 4 名

第一東和会病院 手術室

④ コース内容と学習目標

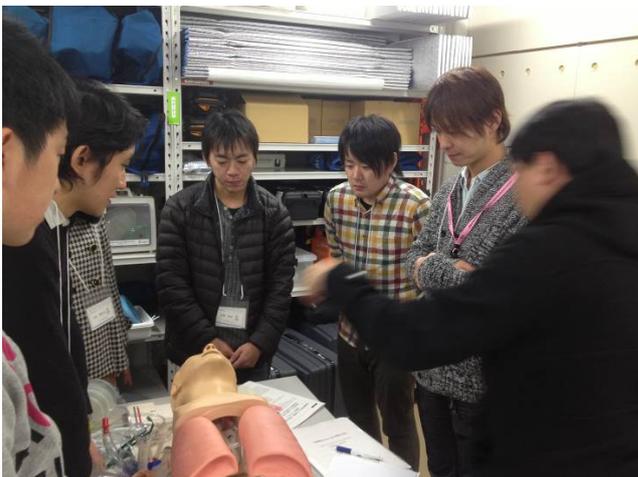
	学習目標
講義	米国麻酔科学会「非麻酔科医のための鎮静鎮痛ガイドライン」の解説を重視 受講前にテキストを送付し、事前学習の推奨
カードを用いた シミュレーション	鎮静薬と鎮痛薬の分類、相互作用の把握
マネキンを用いた 緊急時気道管理ハンズオン	呼吸状態の評価を意識づけ(呼吸パターン、回数、SpO2 等)、酸素投与方法、基本的気道管理(バッグバルブマスク、ラリンジアルマスクを始めとした声門上器具)の習得
シナリオディスカッション	術前リスク把握、準備、必要なモニタリング、投与時の評価等、緊急時対応を質問し、知識の再確認や整理
シミュレーション環境を用いた シナリオトレーニング	臨床での実践対応に関してシミュレーターを用いて習得

⑤開催風景

講義



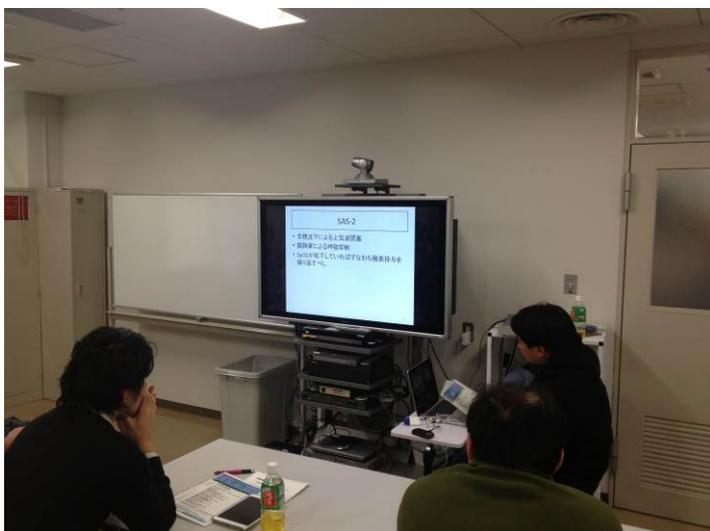
気道管理ハンズオン



カードシミュレーション



シナリオディスカッション





シナリオトレーニング



全体集合写真



⑤今後の取り組み

次回の公募を合わせた MSSC での開催は 3 月 1 日を予定している。